

ゆめのみ

第35号 2019年1月28日(月)

文責 石田 順

先輩に学ぶ

少し前に「世界で初めて流れ星を人工的に飛ばす」というプロジェクトのニュースを聞いた人もいます。そのプロジェクトの中心人物が岡島礼奈さん。彼女は鳥取県鳥取市のご出身であり、なんと鳥取大学附属中学校の卒業生だと言うことを知っていましたか？私たちの先輩が世界で初めてのプロジェクトを成功させようと頑張っておられるのです。

星に願いを

岡島さんが流れ星に魅了されたのは2001年のこと。当時東京大学の学生だった岡島さんは友人に誘われ、獅子座流星群を見に行き、流れ星の楽しさを知ったのだそうです。

しかし一方で流星群といいながらも十数分にごとにしか現れない流星に物足りなさも感じたそうです。そこで「実際に複数の流れ星が同時に『流星群』として流れるのを見たい」と人口流れ星の事業化を考え、2011年にベンチャー企業のALE(エール)を創業したのだそうです。

人口流れ星は、宇宙空間に浮かぶ流れ星放出装置という衛星から直径1センチほどの金属製の粒を放出することで、大気圏との摩擦熱で燃え尽きる際に光を発し、流れ星に見えるのだそうです。また粒の素材を工夫することで長く観測できたり、様々な色も出せるのだそうです。

すでに海外からは都市のプロモーションなどに使えないかと問い合わせもきているようで、野外ライブの演出や観光地のショートしての需要があると想定しているようです。岡島さんは「夜空を彩る、宇宙のエンターテインメントを実現させたい」と思いを話しておられました。

初の観察イベントは来年2020年。オーストラリア上空で流星物質を放出し、これが15分後、日本の上空約60～80キロにさしかかったときに発行する段取りだそうです。広島県の瀬戸内地域の直径約200キロの範囲で観測できるよう。鳥取でも見られるのでしょうか。

線から面に(夢実現に向けて)

以前学年通信に「自分の将来について点で考えるのではなく線で考えよう。」と書きました。5年後10年後だけを見るのではなく、今の延長線上に将来があるという意識が大切だという意味です。私は今回の岡島さんのニュースを知って、「線から面へ」ということを考えました。人が何かの夢を描きそれを実現させようとすると大変な労力を必要とします。しかもそれは1人では実現することが不可能なことが多いものです。岡島さんもベンチャー企業を立ち上げた際に多くの方に支えられ、実現にこぎ着けることができました。今回のプロジェクトは大学時代の体験がきっかけかもしれませんが、彼女が暮らした鳥取のきれいな星空や自然溢れる環境もどこかで影響しているのかもしれない。

単に今の自分から将来を見据えるだけでなく、自分を支えてくれる友人や家族、自分が置かれた状況や環境など多角的なものの考えが夢実現には必要なのでしょう。みなさんにとってはまだまだ難しいことかもしれませんが、先輩のがんばりから何か学びたいものです。

今週の予定

今回の学年通信は『東洋経済ONLINE』を参考にさせていただいています。

1月29日(火)		
1月30日(水)	部活動停止日	
1月31日(木)		専門委員会
2月1日(金)		
2月4日(月)		

新年メッセージ

冬休みの課題としていた年始メッセージ。みなさんの心温まる作品が集まりました。現在廊下に掲示していますが、保護者の方にはなかなか見ていただく機会がありません。ここに紹介させていただきます。(白黒ですので分かりづらいと思いますがご容赦ください)



1年A組



1年B組



1年C組



1年D組一同より

2月の行事予定

日	曜	行事内容
1	金	
2	土	
3	日	
4	月	
5	火	
6	水	個別相談
7	木	個別相談
8	金	個別相談
9	土	

日	曜	行事内容
10	日	
11	月	建国記念の日
12	火	
13	水	テスト前部活停止期間
14	木	
15	金	
16	土	
17	日	
18	月	後期期末テスト1日目

日	曜	行事内容
19	火	後期期末テスト2日目
20	水	
21	木	
22	金	
23	土	
24	日	
25	月	
26	火	
27	水	
28	木	